



YU-INFORMATION  
2012 NOVEMBER No.110  
山口大学広報誌

## 山口大学はお宝ミュージアム

知の軌跡～山口大学の学術資産

図書館／埋蔵文化財資料館

理学部 ゴンドワナ資料室・地球科学標本室

学術資料展示館／商品資料館

専門的な学びの場を地域の方々に提供

山口大学公開講座を体験





YU-INFORMATION  
2012 NOVEMBER No.110



## 「志」つなぎ 伝える 二百年

山口大学は、長州藩士・上田鳳陽によって1815年に創設された私塾山口講堂を起源とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に、地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設されました。来る2015年には、山口講堂創設から創立200周年を迎えます。

山口大学は、地域に根差した大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる100年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。



<http://www.yamaguchi200.jp/>

【テーマ】

# 山口大学はお宝ミュージアム

山口大学では、先人の努力によって収集された博物資料や標本類、文字資料など多岐にわたる学術資料を所蔵しています。現在、これらの貴重な学術資料を未来に継承し、教育・研究の礎とするため、資料の修復や適切な環境下での保存、データベース化やデジタル化に取り組んでいます。そこでYU-INFORMATION11月号では、学内にある資料館や展示室などの施設紹介と各施設が所蔵する代表的な学術資料をご紹介します。

## CONTENTS

■特集 1	01
山口大学はお宝ミュージアム 知の軌跡～山口大学の学術資産	
図書館	
埋蔵文化財資料館	
理学部 ゴンドワナ資料室・地球科学標本室	
学術資料展示室	
商品資料館	
■特集 2	06
専門的な学びの場を地域の方々に提供 山口大学公開講座を体験	
■連載企画	08
考える就職活動	
【平成24年度 第4回】教育を仕事にするということ	
■年間企画	09
NEWS & TOPICS	
こちら YU-PRSS !	
YU INFORMATION	
ワイコーンフォーメーション	
山口大学広報課	
山口大学総務部広報課	
〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1	
TEL 083-933-5007 FAX 083-933-5013	
E MAIL : sh011@yamaguchi-u.ac.jp	
URL : <a href="http://www.yamaguchi-u.ac.jp/">http://www.yamaguchi-u.ac.jp/</a>	
編集・監修 / 山口大学広報委員会	
西田廣次 / 球谷亮子 / 朝倉企画担当 / 小野英彦 (人文学部) / 松澤浩生 (教育学部) / 平井一貴 (経済学部) / 木内 力 (理学部) / 大和田尚二 (医学部) / 山本宗大 (工学部) / 伏松葉美 (農学部) / 倭谷義久 (共同創造学部) / 伊藤毅 (大学教務機関) / 幸井千晶 (大学研究施設運営機関) / 小川原加久 (大学情報機関) / 益平実波 (エクスカシオセンター長) / 内山克志 (大学技術革新研究会) / 隅木智 (総務部広報課)	
企画・編集・撮影・デザイン / マルニ	
印刷 / マルニ	



## 知の軌跡～山口大学の学術資産

江戸時代後期以来の前史を有する山口大学は、昭和24年に新制大学として生まれ変わり、60余年の歴史を刻んできました。その間、多くの先人の努力によって、貴重な学術資料が数多く収集され、有為な人材を輩出するための教育・研究活動が行われてきました。

本学が国立大学法人としてさらなる発展を遂げるためにも、今日まで受け継がれてきた貴重な学術資料を未来に引き継ぎ、教育・研究の場で新たに活用することが不可欠です。本学の所蔵する学術資料は、考古資料や民具などの博物資料、鉱

物・岩石などの標本類、古典籍や古文書などの文字資料等、きわめて多岐にわたります。そこで、貴重な学術資料を後世に継承し、教育・研究の礎とするための第一歩として、「山口大学所蔵学術資産継承検討委員会」を設け、「学術資産リスト」に基づき、資料の修復とそれぞれの資料の特性に合わせた適切な環境下での保存、さらに資料のデータベース化やデジタル化に取り組んでいます。

これらの取り組みにより、各資料は学生・教員・地域社会が利用可能な「教育研究情報基盤」のひとつと

なり、さらに多様な基礎研究や応用研究に活用されることが期待されます。

今回の特集では、本学の各施設の一部とそれぞれが所蔵する代表的な学術資料をピックアップして紹介します。先人の知の軌跡を、資料を通して垣間見ていただけることを願っています。



## 図書館

図書館は、昭和24年に本学の新制大学発足に伴って附属図書館として設置され、現在は、山口地区的総合図書館（吉田キャンパス）、宇部地区的医学部図書館（小串キャンパス）及び工学部図書館（常盤キャンパス）の3館で構成されています。

蔵書数は約162万冊で、所蔵資料の中には、徳山毛利家旧蔵の和漢書コレクションである棲息堂文庫（8,116冊）や、萩藩の藩校であった明倫館旧蔵資料（5,957冊）など貴重な資料が数多く含まれています。図書館ではこれら貴重資料の修復やデジタル撮影などにも力を入れており、一部の資料は図書

館ホームページからデジタル画像が閲覧できるようになっています。

また、江戸期から明治期にかけての大庄屋文書・農村資料などを中心とした古文書約15,000点を所蔵しており、幕末・維新期における山口地域の農村の状況を把握する上で大変貴重な地域史料群となっています。図書館では、教員等と連携しながらこうした古文書の目録データベース作成にも取り組んでおり、この活動が平成24年度の国立大学図書館協会賞を受賞するなど高い評価を得ています。

貴重資料のデジタル画像および古文書の目録データベースは「貴重資料・

特殊文庫コレクション」(<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/collection/>)からご覧いただけます。



所在地／吉田・常盤・小串キャンパス

開館時間／授業期（平 日）8:30～21:45  
【総合図書館】（土日祝）11:15～18:45

休館日／年末年始、休業期間中の土曜・日曜・祝日  
【総合図書館】

ホームページ／  
<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/>

## ■図書館のお宝・学術資料

### 『万国物図』

（徳島文庫所蔵、縦114センチ、横120センチ）

江戸時代初期の寛永14(1637)年に将軍徳川家光上皇のため、長崎で作成された世界地図の下書き。縦114センチ、横120センチの和紙に国名や都市名が書き込まれており、領国令が出される以前の江戸時代初期に日本で作成された世界地図として大変珍しいものである。



### 『重刊鮑氏戦国策』

（11巻10冊、寛永17（1647）年序）



巻頭頁上部には「思永館」・「奇兵隊」という2つの蔵書印がある。思永館旧蔵だったものを、四境戦争・小倉口の戦いで奇兵隊が戦利品として持ち帰って蔵書としたために、これらの蔵書印が並んで押されている。幕末維新时期の歴史の一幕を伝える本資料は、その蔵書印に歴史的価値があるといえる。

## 理学部 ゴンドワナ資料室・地球科学標本室

ゴンドワナ資料室（理学部北棟4階420室）と、廊下を隔てた向かい側の地球科学標本室（410室）は、「学生が岩石や鉱物を自分の目で見ながら自習できるように」という目的で開設されました。

2012年にオープンしたゴンドワナ資料室には、約40億年前にさかのぼる東南極ナビア岩体をはじめ、オーストラリア・インド・スリランカ・マダガスカル・南部アフリカの、37億年前から6億年前の時代とヒマラヤの岩

石標本が5,000点余、系統的に展示・保管されています。

地球科学標本室は2005年開設、2012年にリニューアルし、従来の展示に加えて「鉱物と岩石の色や形態」「資源となる鉱石」などの展示を充実しました。カラフルな鉱物の世界と不思議な石の形態を解説のパネルを見ながら楽しめます。



所在地／吉田キャンパス

開館時間／学生は随時閲覧可

ホームページ／  
[http://www.sci.yamaguchi-u.ac.jp/dsp/ges/copy\\_of\\_z84n5](http://www.sci.yamaguchi-u.ac.jp/dsp/ges/copy_of_z84n5)



## 埋蔵文化財資料館

大学設立当初、山口大学の各学部は山口県内各所に散在していましたが、昭和41(1966)年に現在の山口市吉田キャンパスへ統合移転が開始されます。その移転工事中、地中から大量の土器や石器が出土しました。翌年には学長を団長とする「山口大学吉田遺跡調査団」が結成され、校舎予定地などの発掘調査が開始されます。そして昭和53年以降、本学遺跡保護の責務は埋蔵文化財資料館が引き継ぐことになりました。

本学遺跡調査開始より半世紀。埋蔵文化財資料館は「遺跡保護」の理念の下、遺跡の発掘調査、出土品の調査・研究を実施し、調査報告書の刊行、資料展示等を通じて学内ののみならず広く地域社会に遺跡情報の発信を行っています。

当館では年に数回、実施した発掘調査の成果を基に企画展示等を開催しています。ぜひ一度足を運んでください。



所在地／吉田キャンパス  
開館時間／9:00～17:00  
休館日／土曜・日曜・祝日、8/13～8/15・12/28～12/31  
ホームページ／<http://yuam.oai.yamaguchi-u.ac.jp/>

### ■埋蔵文化財資料館のお宝・学術資料



弥生時代のガラス小玉  
(吉田遺跡出土)

吉田キャンバスグランド照明施設調査区にて出土。弥生時代の竪穴式住居の中から大量出土した稀な事例である。



弥生土器壺  
(吉田遺跡出土)

吉田キャンバス大学会館前庭部出土。形態から北部九州の影響を受けていることが分かる。



銅地金貼耳環  
(見島ジーコンボ古墳群出土)

古代の装身具。国史跡 見島ジーコンボ古墳群第151号墳より出土。地金は銅であり、表面には金が貼られている。



須恵器蓋墨書き「官」  
(吉田遺跡出土)

吉田キャンバス農学部解剖実習棟調査区にて出土。蓋表面に墨で「官」の文字が記されている。この地に官衙(古代の役所)が存在していた証拠の一つ。

### ■理学部 ゴンドワナ資料室・地球科学標本室のお宝・学術資料



縞状片麻岩  
産地：東南極プリンスオラフ海岸竜宮岬

黒い縞は角閃石片麻岩、白い縞は花崗岩質片麻岩。約6億年前、ゴンドワナ大陸形成時にできた。



菱マンガン鉱  
産地：青森県南太監山

鮮やかなピンク色はマンガンを含む鉱物に特有。もこもこした形態は、鉱石成分を含んだ熱水が岩石の割れ目に沈殿したことによる。



## 学術資料展示館

山口大学工学部には、本学の卒業生で金属鉱床学の権威である故菅木本（すがき）浅彦東北大・山口大学名誉教授を中心となって採取した鉱石約20,000点が寄贈されており、その一部を学術資料展示館にて公開しています。

菅木先生が55年間をかけて15カ国から集めた鉱石標本は菅木コレクションと呼ばれ、現在では手に入れることが難しい貴重な鉱物・鉱石資料が多数含まれています。

学術資料展示館は、工学部創立70周年記念事業の一環として、工学部同窓生、関係者及び宇都市民からの寄付金によって2010年に工学部の敷地内に建設されました。

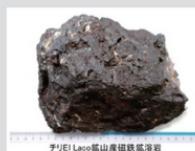
展示館では、世界各地で収集された学術的価値が高いとされる鉱石約20,000点から選ばれた約400点の鉱石試料及び菅木先生の名前を付けた菅木鉱等の5つの新鉱物も展示しています。また、展示されていない膨大な資料についても、ホームページ上の「鉱石データベース」で一部公開しています。

鉱石試料を展示している本資料展示館は、日本でも例を見ないユニークな博物館で、鉱石標本収蔵数では日本最大です。宝石級の綺麗な結晶及び鉱石の成因についてのパネル展示も行っていますので、是非見学してください。



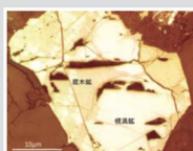
所 在 地 / 常盤キャンパス  
開館時間 / 平日 9:00～17:30、土日祝 12:00～17:30  
休 開 日 / 山口大学工学部附属図書館の休館日と同じ  
ホームページ /  
<http://www.mssc.eng.yamaguchi-u.ac.jp/>

### ■学術資料展示館のお宝・学術資料



磁鉄鉱溶岩

チリ北部の5000mの高所にあるエルラコ火山から流れた鉄のマグマが凝固した磁鉄鉱溶岩である。この鉄溶岩は、世界で唯一のもので、菅木コレクションには、この鉄溶岩塊が大小6個、20Kg程度が収集されている。



新鉱物

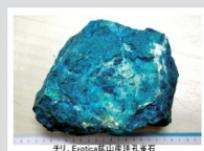
(菅木鉱、楕圓鉱)

北海道栗駒山系(支笏湖)から採取された新鉱物で、主に楕圓鉱と菅木鉱から構成されています。これらの鉱物は、通常は鉄隕石中に見られることが多いため、珍しい鉱物です。



埼玉県秩父鉱山産糸金

糸金鉱は、主に銅鉱石中に共生する希少な自然金で、これが鉱石中に密着しているのが特徴です。糸金鉱は、昭和40(1965)年頃までの秩父鉱山から局部的に産出されたため、珍しい産出形態です。



珪孔雀石

珪孔雀石は、銅の鉱物が風化することによって生成され、主に乾燥地域で産出します。通常、繊維状の塊状で産出され、写真のような大型試料は貴重です。アメリカにおいて大人気の宝石で、天然の状態では脆いため、石英ガラスで固められたものが利用されています。



## 商品資料館

山口大学経済学部附属商品資料館の歴史は、経済学部の前身である山口高等商業学校に設置された商品陳列室に遡ることができます。山口高等商業学校が設立された明治38(1905)年当時は、市場に流通している商品の種類と量が今ほど多くなかったため、重要な輸出品や貴重な産物の標本類を実際に活用する教育(商品学)に力が入れられました。そして、商品学の授業の研究資料として各種商品の収集が始まられ、明治41年に商品陳列室が設置されました。その後も一貫して商品資料の収集が続けられ、平成7年には商品陳列室を発展的に継承する形で、全国的にも珍しい商品資料館が建設されました。

現在、商品資料館には、永年にわたって収集された主要な産業の商品や重要な貿易商品など約8,000点の貴重な商品資料が収蔵されています。特に、明治期において日本の主要輸出品であった陶磁器類を始めとする戦前の輸出入品の収集は、品種、数量ともに他に類を見ないものです。

各商品資料にはそれぞれ収集地と購入価格等が記入されており、産業経済の実証的教育研究の資料として学術的な価値が高く、注目を集めています。学部における教育研究はもとより、広く社会に公開することで地域の人々の生涯学習にも大きく貢献できるものと期待されています。



所在地／吉田キャンパス  
開館時間／10:00~17:00  
休館日／土曜・日曜・祝日・年末年始・8月中旬  
ホームページ／<http://www.econo.yamaguchi-u.ac.jp/shishinkan.php>

### ■商品資料館のお宝・学術資料



九谷焼のティーセット

明治時代に入ってから、有田焼等とともに大量の九谷焼が海外へ輸出された。その歴史背景には、中国の焼き物産業が清の時代のアヘン戦争、列強による植民地化などによって疲弊していたことがある。写真中の焼き物はその時代にヨーロッパへ輸出するために日本で生産されたものである。輸出用であるため、モダンな形になっていて、また、モダンな形を作られても描かれている人物は日本人である。これは一目で日本製と分かってもらいうための工夫であった。



戦争インフレによる超高額紙幣標本

これらの写真是、第一次大戦後のドイツの非常貨幣であり、戦争インフレのすさまじさを示す意味で庄者である。額面が高額になるに従って、サイズも小さく、紙の質も粗悪になるなど、紙幣が紙切れ自然になっていく様子が伺える。

**【展示室】**\*2010年6月末現在  
陶磁器・ガラス類展示室…1797点  
金属類展示室…2912点  
(金属類以外の展示物含む)  
繊維・紙パルプ・木工品展示室…2444点  
貨幣展示室…740点  
(貨幣以外の展示物含む)

### 【沿革】

明治41年：商品陳列室設置  
昭和19年：増築「商品館」へ  
昭和48年：経済学部新校舎A棟へ商品陳列室として移転  
昭和54年：同C棟へ移転（床面積拡張）  
平成7年：現在の「商品資料館」が竣工

## 山口大学公開講座を体験

### ■山口大学公開講座とは？

公開講座は、山口大学の保有する人的・物的機能及び教育、研究の成果を広く開放し、地域住民の知的好奇心に応え、地域社会の知的啓発に資することを目的としています。毎年、自然、科学、文学、コミュニケーションなど、様々な分野の講座が開催されます。1日限りの講座もあれば、数日開かれる講座もあり、講義日程は様々。大学以外からも民間企業や団体の方が講師として参加されることもあります。平成24年度は、22の講座が開講されました。

山口大学エクステンションセンターでは、公開講座の他にも人的・知的の資源を活用した事業として、学生たちとともに同じ教室で授業を受ける「開放授業」、講師が高等学校に出向いて専門的な内容を分かりやすく講義する「出前講義」などを行っています。

### ■平成24年度に開催された公開講座の一例

講座名	内 容
歩いて、学んで、理解する。 カタログにない秋吉台	秋吉台を愛し守ってきた方々に話を聞き、受講生とともに草原を歩きました。 (4月に開催、全2回)
今日から始める グリーンライフ講座	農作物の栽培に興味や関心がある方を対象に、知識や技術を基礎から学びました。 (4~11月に開催、全5回)
小麦栽培から始める パンづくり	小麦品種「ニシノカオリ」やパン作りについて学び、小麦の収穫、パン作り実習を行いました。 (6~11月に開催、全3回)

### ■お申し込みから受講までの流れ

- ①山口大学エクステンションセンターのウェブサイト上からのWeb申し込み、Eメール、電話、FAXのいずれかの方法で申し込みます。受付は先着順で、定員になり次第、締め切ります。
- ②受付後、送られてきた振込用紙で受講料を振り込みます。
- ③講座開講日1週間前までに、詳細な案内が送られてきます。

### ■お申し込み・お問い合わせ

山口大学エクステンションセンター

〒753-8511 山口市吉田1677-1

TEL 083-933-5059(直通) / FAX 083-933-5029

月曜～金曜 8:30～17:00(土・日・祝祭日は除く)

E-mail: exten@yamaguchi-u.ac.jp http://www.ext.yamaguchi-u.ac.jp/

## 山口大学地域連携室からのお知らせ

### 「キャンパスでくてくツアーア」がスタート

山口大学地域連携室では、地域との交流促進、社会連携活動の支援を行っています。

10月から学内キャンパスの地域開放に関するイベントとして、一般の方を対象に学生ガイドが学内を案内する「キャンパスでくてくツアーア」を始めました。ガイド付で学内の見どころを散策できるチャンスです。定期的に開催されますので、ぜひ一度足をお運び下さい。



第1回は10月5日に開催。学外から約30名の方が参加されました。

参加費／無料

実施日／毎月第1・第3金曜日(祝日を除く)15時から約2時間程度

※年末年始、お盆には実施しない場合もあります。

集合場所／吉田キャンパス正門付近に14時50分までに集合

申込方法／事前申込不要

お問い合わせ／山口大学地域連携室 TEL 083-933-5797(または5975)

山口大学では、地域住民など学外の方を対象とした公開講座を開催しています。自然、科学、文学、コミュニケーションと、幅広い分野の公開講座を企画し、地域の皆さんに学びの場を提供しています。



## ■公開講座体験レポート

平成24年9月1日(土)吉田キャンパスにて、公開講座「香りを科学する」の第1回講座「香りのミニ基礎知識とトピックス」が開催されました。第1回の担当講師は梶原忠彦名誉教授で、「海の香り」をテーマに取り上げ、海の香りの不思議を科学的に学びました。受講生には女性だけでなく男性も多く、幅広い年代の方が参加されていました。受講生からは時折、質問も挙がり、意欲的に学ぶ姿勢が感じられました。

### 【講義内容(抜粋)】

#### 海の香りとは、どのような香りか

人それぞれ感じ方や連想する香りが異なり、一言で表現するのは難しいのですが、海洋を想起する香り、海藻を想起する香り、磯の香り、海辺の香り、潮の香りなど、海洋系の香りを広く含めたものとします。



「香りを科学する」は、毎年開催されている人気の講座で、様々な年代の方が受講されていました。

#### 海洋植物の香りには、陸上植物はない珍しい香りがある

海を思い起こす香りを「オーシャンスメル」と言い、ディクティオブテレンが主な成分です。このような香り成分は陸上植物には見つかっていませんので、陸上にはない珍しい香りと言えます。

陸上植物は、5億4000万年前に海洋植物が陸に上がって形成されたため、海洋植物にも陸上植物と同じ成分があるはずです。実際に調べると、昆布には陸上植物の葉に含まれている「みどりの香り」や「キュウリの香り」と同じ成分が含まれていました。

つまり、海洋植物には陸上植物にない珍しい香りが見つかっていますが、陸上植物の「みどりの香り」や「キュウリの香り」は、海洋植物である昆布に含まれていることが分かります。



スライドを使って、イラストや写真による解説を交えながら講義は進んでいました。

#### 海洋植物の香りは、陸上植物と似たような仕組みで発生する

「キュウリの香り」について言えば、陸上植物の場合、植物タイプの脂肪酸を使って香りを作っていますが、海洋植物の場合は動物タイプの脂肪酸も使って香りを作っていることが海藻の研究により分かってきました。

海洋植物のメカニズムは、その進化を物語るよう陸上植物に比べて多様であると言えます。

#### 海洋植物の香りは、性フェロモンとして働く

陸上では、花の香りに昆虫が惹きつけられて受粉しますが、海の中でも同様のことがあります。例えば、ワタモの場合、雌性配偶子は着床すると海洋の香りを分泌し、雄性配偶子を誘引します。爽やかな海洋の香りは、性フェロモンで、生命現象の根幹を担っていたというわけです。



昆布と「キュウラルコール」という香り成分を配布して、どんな香りがするのか体感しました。

## 公開講座「香りを科学する」

内 容／「香り」が日常生活に盛んに取り入れられるようになり、香りが身近に感じられるとき同時に、その不思議感が高まっていきます。香りの多様性と生物の多様性、香り嗅ぎ分けの仕組み、暮らしと香りなどを基礎から応用までトピックスを含めて紹介・解説するなかで、「香りの不思議」を可能な限り科学することを目指します。

開催日時／ 計4回(平成24年9月1日、8日、15日、22日に開催)

講 師／ 梶原 忠彦(山口大学名誉教授) 松井 健二(大学院医学系研究科教授)  
渡辺 雅夫(大学院理工学研究科准教授) 赤壁 善彦(農学部教授)

# 教育を仕事にするということ

センパイたちはどんな仕事に就いているの？

どんなふうに働いているの？

そこで、「考える就職活動」平成24年度第4回目は、

山口大学を卒業後、小学校教員として教壇に立ち、

現在、宇部市教育委員会で市内中小学校の学習指導等に携わっている西田卓礼さんによる、教育現場でのやりがいや教員を目指したきっかけについて、

お話を伺いました。

Q1.どのような仕事をしているのか教えて下さい。

A. 現在の職場では、宇部市内の小学校や中学校を訪問し、子ども達がよりよく学ぶことができる教材の活用方法、評価の方法などについて先生方と一緒に考えたり、研修会を実施したりして、子ども達の夢の実現のための支援をしています。私は、情報教育を担当しているので、ICT(情報通信技術)を活用した授業の推進も行っています。

Q2.教育委員会で勤務になってから、教員の頃とは考え方を変えましたか。

A. 教員の時は、自分のクラスの範囲、または学校の範囲でしか物事が見えていなかったのですが、現在の仕事は市内全てが範囲になるので、子ども達への教育に関して視野が広がりました。以前は小学校の教育現場しか知りませんでしたが、中学校の授業を見たり、先生方と話したりして、小学校・中学校の9年間の子ども達の成長を見据えた取り組みが大切だと一層思うようになりました。

教育委員会の仕事は、教員と違って毎日直接子どもに接するわけではないので、成果が見えづらい部分はあります。だからこそ、県や市の施策に沿って私たちがいろいろな企画をしたが、教育現場で形になってきたなと感じた時、やりがいを感じますね。

Q3.なぜ教員を目指そうと思ったのですか。

A. 小学校の担任の先生との出会いが教員を目指すきっかけになりました。目標を立ててくれたり、少しでもできたことを褒めてくれ



西田 卓礼 Nishida Takanori

山口県宇部市出身。山口大学教育学部小学校教員養成課程を卒業。平成6年から16年間、小学校教員として光市、宇部市の中学校に勤務。平成22年から宇部市教育委員会学校教育課に勤務。

たりして、「苦手なことでもがんばったらできるんだなあ」と思ってくれる先生でした。

大学の時は、中学校の英語教員になりたい気持ちもあったのですが、教育実習で指導してくださいました小学校の先生の影響で、小学校の教員になろうと決意しました。実習は大変でしたが、この時に教えてもらったことが教育現場で大変役に立ちましたね。

Q4.採用試験までは、どのように過ごしていたのですか。

A. 就職活動はせず、ひたすら7月の採用試験に向けて勉強していました。まず、学習指導要領を読むことから始め、問題集を解いたり、法律を覚えたりしました。特にピアノが苦手だったので、先輩に教えてもらひながら練習しましたが、苦労しました。

Q5.在学生へメッセージをお願いします。

A. 小学校教員は、音楽、家庭科、理科の実験などもあり、広く指導しなくてはいけません。自分でできると思っていても、教える立場になると意外にできないことはたくさんあります。だから、大学生の時にいろいろな事を経験しておいてほしいですね。大学の中だけにいたら、知らないままのことがたくさんあるので、少しでも興味を広げて行動した方がいいと思います。



## 就職関連情報

### ■「学内業界・企業研究会」開催中！

企業の経営者・人事担当者を招き、就職活動や自身のキャリア形成に役立ててもらう研究会を現在開催中（～平成25年2月28日）。ブース式による複数企業合同研究会も下記日程で実施されます（各キャンパス間の無料送迎バスあり）。

＜吉田キャンパス＞

■日 時：平成24年12月19日（水）15:30～20:00

■場 所：第2学生食堂「きらら」

＜常盤キャンパス＞

■日 時：平成24年12月22日（土）12:30～17:00

■場 所：工学部食堂

### ■山口大学生のための「キャンバスマーチ2014」の開催

全国の優良企業が常磐キャンパスに集結。3年生・M1の学生対象です。

■日 時：平成24年12月12日（火）10:00～17:00

■場 所：工学部（常磐キャンバス）体育館（吉田キャンバスからの無料送迎バスあり）

※特設のサイト

<http://www.forum-times.net/yamaguchi/>

### ■「国公務員ガイドンス」（仮称）の開催

人事・各府省の人事担当者をお招きし、国家公務員採用試験の概要や各府省の業務内容についてご説明いただきます。

■日 時：平成24年12月25日（火）14:00～18:00

■場 所：大学会館大ホール、第2学生食堂「きらら」（予定）

### ■「学内OB・OG訪問」の開催

TYSテレビ山口の春川純也さんと佐藤けいさんをお招きして、就職活動のことや働くことについて、ざっくばらんに語り合っていただきます（先着20名）。

■日 時：平成24年12月9日（日）13:00～14:30

※突然的な事情により、日時等変更になる場合があります。

■場 所：大学会館2階会議室



# YU-PRSS!

## NEWS&TOPICS

私たち学生スタッフが、山大の最新の話題やニュースをお届けします！

## 01

### ＜創基200周年情報＞

#### 「山口大学キャラクター」が決定！

山口大学は創基200周年を契機に、本学の学生、児童生徒（園児）および教職員が一体となって前進することを祈念し、また、地域にひらかれた山口大学を目指し社会との連携を強めることも目的として、キャラクターと愛称を策定しました。



キャラクターの愛称は『ヤマミイ』。（※商標出願中）

愛称のコンセプトは、Yamaguchi Universityから「Yama（ヤマ）」、そして猫の鳴き声を意味する英語「Mew」から、「私」を表す「Me（ミイ）」を取り、それを組み合わせたもので、愛称に大学名と同じ響きがある入る事、山口大学のキャラクターであることがすぐに認識できるようになっています。

また「Me」には、「ヤマミイ」に、山口大学の「私（=アイデンティティ）」を体現する存在になって欲しい、「学生の皆様に、山口大学でそれぞれの「私」を発見して欲しい」という想いを込めています。

『ヤマミイ』は、山口大学シンボルマークの形状をヒントに作られた猫のキャラクターですが、シンボルカラーを基調とした色使いで、出版物など様々なツールへ展開しやすくなっています。

動物をモチーフにしたキャラクターの「愛着がわきやすく、懐えられやすい」というメリットを活かし、大学関係者や県内外の多くの方々にまで幅広く愛され、大学のイメージアップにつながるキャラクターとなっています。

※『ヤマミイ』に関する問い合わせ先

総務部総務課

TEL:083-933-5005 FAX:083-933-5013

E-mail: sh015@yamaguchi-u.ac.jp



### 「創基200周年記念 第2回基幹シンポジウム」を開催！

平成24年12月5日(水)に、自分たちが学んでいる山口大学の200年の歴史を見究(認識)し、これから見たこれらの山口大学を語ることを趣旨として、「創基200周年記念 第2回基幹シンポジウム」を開催します。

開催日時はなどはとのおりですので、第2回基幹シンポジウムを有意義なものとするとともに、同シンポジウムが創基200周年に向けて、さらに機運を高める契機となるよう、多くの方に参加をお待ちしています。  
く日時>平成24年12月5日(水) 18時00分～20時00分

＜会場>吉田キャンパス：共通教育棟1番教室(メイン会場)

小串キャンパス：医学部第3講義室(遠隔配信)

常盤キャンパス：工学部D棟31講義室(遠隔配信)

＜参加対象>学生、教職員、一般市民



## 02

### ＜3都市・3大学国際シンポジウムを開催＞

#### 「食」を通じた地域の活性化と日中韓3カ国の経済交流の促進

10月9日(火)、山口市・山口大学の共催で、中国・済南市と韓国・昌原市、およびそれらの都市に位置する山東大学・昌原大学校から関係者を招き、3都市・3大学国際シンポジウムを開催し、約150人が参加しました。このシンポジウムは、毎年、特色ある課題について、行政代表者と大学研究者が意見交換を行い、地域の国際化の推進と発展を目指すものです。

済南市が都合により不参加になったため、第一部として昌原市および山口市の行政担当者が、地域特産品の商品化戦略などをについて発表を行い、第二部では、山東大学・昌原大学校の研究者が、済南南部山地の飲食業界の発展などについて、それぞれ講演しました。また本学からは、教育学部の荒木一視教授が講演を行い、食料流通において日中韓の3カ国の関係は深く、そのことを踏まえた上で、将来の食料供給システムを考えいく必要があると述べました。

今回のシンポジウムは、「食」という我々の生活に身近なテーマを通して、改めて国際交流とはまちづくりに欠かせないものであるという認識を共有することができ、大変意義あるものとなりました。本シンポジウムを契機として、3都市・3大学の交流がより発展していくことが期待されます。



【YU-PRSS(ユープラス)とは?】「キャンパスライフ」、「ワイルドフォーメーション」の制作に携わる山口大学広報学生スタッフです

#### YU-PRSSメンバー

黒江 那津子／佐々木 裕美／久保田 法度／入江 貴博／國本 亮／長岡 泰祐／溝口 明河／河島 あかね／前田 梅乃／吉岡 優一／石井 沙希／中島 真貴／城村 ひとみ／長岡 真大  
倉増 沙和／田里 駿太

#### ■追加メンバー募集中！

主な仕事は、山口大学のホームページ内にて毎週更新されている「キャンパスライフ」ページの作成と山口大学広報誌「ワイルドフォーメーション」の製作補助です。取材・撮影・記事執筆といった、企画・編集業務に興味のある方、一緒に活動してみませんか？詳しくは下記アドレスまでメールしてください。

E-MAIL : campus@yamaguchi-u.ac.jp キャンパスライフURL : [http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus\\_life%20\\_web/](http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/)

#### ■感想、取材依頼などお気軽にメールしてください！

今後にについての感想や、今後いろいろな特集はどうだろうといったアイデア、こんな人を取材して欲しいといったご要望も受け付けております。また、「私たちを取材して欲しい」といったサークルやグループも大歓迎です！たくさんのメールをお待ちしています。

「志」つなぎ伝える  
二百年



—創基200周年—  
**山口大学**

～2015年に山口大学は創基200周年を迎えます!～

YU-INFORMATION  
2012 NOVEMBER No.110

山口大学広報誌